

# SHIN CLUB 284

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「桜楼居」 撮影：小川重雄

今月のトーク/monthly talk

## 桜を囲む

日本人にとってゆかりの深い樹木「桜」。四季折々でその姿は変わり、春には淡いピンク色の花を満開にして冬の終わりを告げ、夏には力強い緑葉が夏の日差しを遮り、秋には中秋の名月を紅葉で彩りながら、冬には落葉し厳しい寒さに耐える大木に強い生命力を感じることができる古来より愛され続けている落葉広葉樹です。

日本人と桜の歴史は古く、弥生時代には「桜は穀物の神が宿る樹木」として祀られるようになりました。桜の開花時期は気温と密接に関係しており、暖かくなると開花を始めるため桜が満開になる時期を基準にして、稲作を開始していたと言われていました。また、桜の咲き具合で稲作の豊凶を占う習慣も、弥生時代に生まれました。そんな緑深い桜が、屋上庭園に咲き誇り、春の訪れを風とともに感じることで別邸が完成いたしました。

東京都渋谷区の閑静な住宅街に位置する「桜楼居:おうろうきょ」は、屋外の風や光を受け流す流動的な開放空間と、流れるような繁扇垂木が印象的な屋根、240 mm角の通し柱によって筋交いのない大開口の木製サッシで構成されており、建て主様の「桜を囲める庭が欲しい」というご要望を受けた建築家 下吹越武人氏によって設計されました。

「本邸の隣地で計画をおこなったのですが、計画エリアは『第一種低層住居専用地域』なので、住宅以外の建物は建造できませんでした。また、道路レベルから見ると本邸の主階は2階に相当しており、同レベルで庭園を設けるには1階に桜を植えて、観賞は2階という

ことになります。そうなると必然的に8m近い桜を移植しなければならないこととなりますが、桜はデリケートなので、その大きさを移植可能な木があるかどうか、建築計画以前にそこが難儀でした」と下吹越武人氏。

そこで候補に上がったのが、桜の代表格ソメイヨシノの改良品種「神代曙：ジンダイアケボノ」。耐久性や根付きの良さから採用を決定されたそうです。

「いろいろな植木屋さんにヒヤリングをおこなった結果『神代曙』であれば移植可能という判断になり、そこからやっと建築の構想を描いていきました。最初に無垢材を並べてふわっと屋根だけが浮かんでいるイメージが浮かび、木の質感と柔らかさに包まれる心地よさと、流動的な空間構成によって庭と一体的な居場所になれるような建物が良いのではと考えました。室内は余計なものが無く、皆がのびのびとできる空間のなかで桜を囲む。四季折々の姿を惜しみなく鑑賞できる特別な場所となればと思い計画しました」（下吹越氏）

本来桜は夏に実が付き、それが翌年の春に花として咲きます。「桜楼居」の桜は昨年夏に移植をおこなったため、今年の開花は希望薄でしたが、なんと10輪ほど花を咲かせたそうです。わずかでも花を付けてくれたことに大変驚かれた建て主様から、既に来年のお花見のご招待をいただいたと嬉しそうに語る下吹越氏。来年は満開の桜を囲み、「桜楼居」の名の通り、柔らかな空間のなかで四季折々の桜の姿を眺められる特別空間となることでしょう。



桜楼居



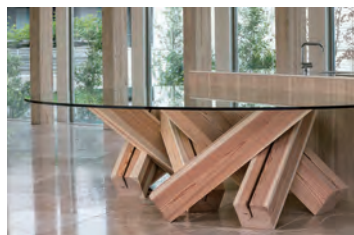
開放的な空間から眺める桜



緩やかな楕円を描く重層垂木



下階駐車場。通し柱と桜の吹抜けが見える



造作のダイニングテーブル



夕景

浮遊屋根

桜の移植が可能と判断したのちに浮かんだ抽象的なイメージ「柔らかい素材で流れるような屋根が浮いている下には、のびのびと寛げる空間が広がる場所」をスタディしていくため、まず取り掛かったのは屋根を支えるにはどうしたらよいか、から始まった。

計画地は想像していたよりも広く、短辺方向でも5mは超えているため、単純梁を用いるとかなりの存在感が生まれてしまううえ、放射状に広がる屋根をどのように支えるかという点で頭を悩ませた。構造の佐藤さんと幾度も検討を重ね、「3ヒンジフレーム」という部材を組み合わせながら門型のフレームを造り、放射状に並べていくという案にたどり着いた。

次に、屋根だけの構成で開放的な空間をどのようにして地震力に抵抗していくかを検討。通常は耐力壁を造るが、あくまで壁を造らず計画できないか佐藤さんと検討した結果、ラーメン構造で柱を造り、柱と地面との接地面で地震力に抵抗することに。これで構造形式が成立し、柱と屋根だけの建築が実現した。

今回の計画は屋根の形状が楕円の放射状であったため、一本一本垂木の長さや角度が異なることから、3Dモデリングを駆使しなければ建築できない現場であった。CADで数字は算出されるが、最終的には現場で人の目で間違いがないかどうかを確認し、且つイレギュラーが発生した際の納めや誤差へのリカバリーなど、今までの施工経験がないとイメージは非常に困難だと痛感した。PC上の世界と現場の生々しい格闘の世界を、その経験と技術で納めてくれた池山所長には大変ご苦勞をお掛けしてしまいました。最終的には本当に精度の高い素晴らしい建築が出来上がり、池山所長、堀内主任、岸崎係員には大変感謝している。

私としても挑戦であり、多くのことを学んだ現場であった。

(A.A.E. / 下吹越武人氏 談)

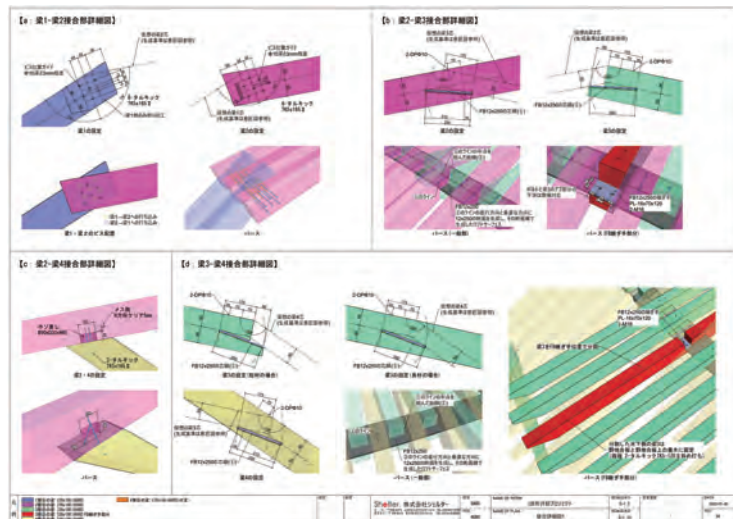


建物全景。159本の梁で緩やかに起伏させた屋根が印象的

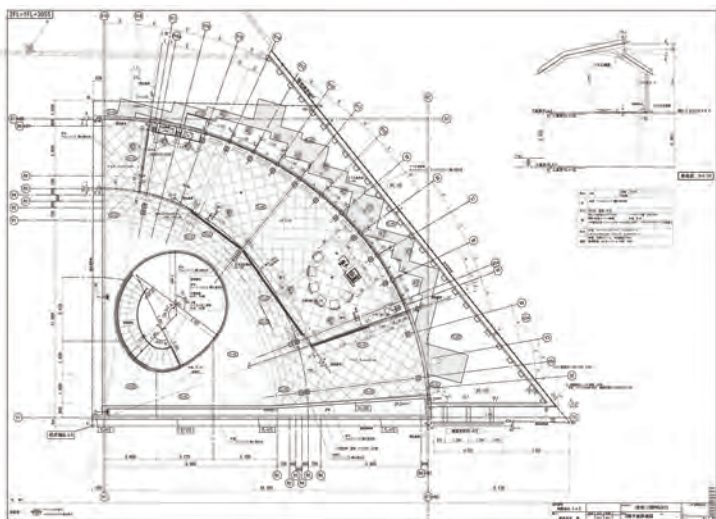


精緻に組まれた短方向の梁

構造：RC造 + 木造 一部S造  
 規模：地上2階  
 用途：一戸建て住宅  
 設計：下吹越武人 / A.A.E.  
 構造：佐藤淳構造設計事務所  
 木造：シェルター  
 竣工：2022年8月  
 施工担当：池山・堀内・岸崎  
 撮影：小川重雄



木造部分の3Dモデリング。複雑な形態を精緻にシミュレーション



施工図。放射状に広がる屋根詳細が分かる



# Taketo Shimohigoshi



今月は、「桜楼居」の設計者、下吹越武人氏にお話を伺いました。広島県三原市出身の下吹越氏。有名建築家の作品との出会いをきっかけに建築の道志し、横浜国立大学工学部建築学科大学院修了後、北川原温建築都市研究所を経て独立。その後数々の受賞歴を誇り、今回設計した「桜楼居」は竣工後間もなく建築雑誌「新建築」の住宅特集に掲載、ウッドデザイン賞 2023 ハートフルデザイン部門入選など業界で注目を集めています。

ー建築を志されたきっかけの有名建築家の作品とは。

下吹越：「国立代々木競技場」丹下健三氏ですね。中学時代に体調を崩し、医者から手に職を付けた方が良いと言われたので、当時職業図鑑を手を上から〇×印を付けていきました。すると田舎出身の私には「建築家」だけなじみがなく、どういった仕事かイメージが湧かず唯一印がつけられなかったんです。高校2年生の夏休みに東京の叔父宅に1ヶ月程滞在していたとき、お金もなかったので都心街を電車も使わず散歩をしていました。青山、銀座、品川、渋谷と場所によって人の雰囲気や街自体が変わるのを見るのがとても楽しい毎日のなか、原宿にある国立代々木競技場を見て衝撃を受けました。「建築家ってこういうことか」と。広島へ帰宅後いろいろ調べて丹下健三氏の設計だと分かったときに「広島ピースセンターって丹下健三だったんだ」と初めて気が付きました。私にとって身近な建物だったので「建築」として見ていなかったんですね。ただ、現代建築に全く知識を持っていない私でも広島ピースセンターは心象に残っていて、それが丹下健三氏と知ったとき、そういうことかと腑に落ちたんです。それで建築を学ぼうと思いました。

ー志し高く建築学科へ入学されたのですね。授業はいかがでしたか。

下吹越：想像していた建築の面白さとは全く違いました（笑）。当時は伊勢神宮外宮を烏口（からすぐち）でトレースしたり、博物館の計画学の講義など、クラシカルで保守的な授業が中心でした。もちろんその良さもありますが、あの丹下健三氏の荒々しさや建築だけで世界へ挑戦するようなクリエイションな部分の魅力とは真逆で、想像と大きく違いました。結果同級生と2人でビリヤードして授業に出ないこともありました。そんなとき講師で来ていた渡辺誠

先生がアルバイトを探していると聞き手伝いに行きました。そしてらコンペで1等を取ってしまい実施設計まで担当することになったのですが、このまま現場を続けていたら大学に入った意味が無くなると思い、頭を下げて大学へ戻ったのが大学院2年生の春。周りは就活が終わり、自分だけ取り残されている事実が驚きました。そんなとき北山恒先生から手が空いているなら北川原先生の手伝いについてほしいと言われて、大学戻って早々また設計事務所へ赴き、結局院修了後もお世話になることになりました。

ー現在大学の建築学科で教鞭を取られていますが、下吹越氏の考える「建築」をどのように教えられていますか。

下吹越：「好きなことをやりなさい」としか言っていません。今の学生は情報が容易に収集できるがゆえ、比較検討作業に終始してしまう傾向があります。分かりやすい判断で留まってしまい、各々の情報の背景にある世界についてあまり関心を示しません。例えば、建築家や建築作品の名前は知っていますが、「好きな建築家は誰？」と聞くと答えられない学生が多いのが現状です。建築作品100個は知っていても、どういった人が創ったかにはあまり関心がなく、事例（サンプル）として捉えているように見えます。しかし音楽や絵画もそうですが、作品には制作者の思想・理想・為人があり、建築も制作者の「人間性」と時代の価値観を読み解いていくことに面白さと豊かさがあります。それが傑作でも駄作でも必ず創作世界があるのに、その前で読解を止めていることが非常に深刻だと思います。なので「好きなことをしなさい」は何か1つのことに向き合っただけでそこから何かを発見し、発展することの経験をしなさいという意味なんです。社会人になると時間の制約ができて自由な時間が少ないですから、是非学生の期間に学んでもらいたいです。

ー「桜楼居」のアプローチに設置したフラワーアーチは、学生による設計施工だとか。

下吹越：学内の研究室で「ゾリンガーラメラアーチ」の研究しており、数式や構造解析などの研究は進み、あとは実践できる場があると良いねという話しをしていたときに建て主様からご依頼をいただきました。面白いことをしたいとご要望をされたので、安全性や耐久性は私が保証するとしてご提案したらご快諾いただきましたので実施しました。自分たちで研究し、それが実践で証明できたならばとてもいい経験になります。こういった体験を多くの学生に提供したいと思います。

ー本日はありがとうございました。



【設置されたフラワーアーチ】  
木材の加工、運搬、施工に40人の学生が参加。セルフビルドで施工設置された。

## 下吹越 武人（しもひごし たけと）

1965年 広島県生まれ  
1988年 横浜国立大学工学部建築学科卒業  
1990年 同大学院修了  
北川原温建築都市研究所 入所  
1997年 A.A.E. 設立  
1998年 有限会社A.A.E. に改組  
2004年 法政大学非常勤講師  
2005年 早稲田大学芸術学校非常勤講師  
2006年 明治大学非常勤講師  
2007年 横浜国立大学非常勤講師  
2009年 法政大学デザイン工学部建築学科准教授  
2011年 首都大学東京非常勤講師  
法政大学デザイン工学部建築学科教授



TOPICS/INFORMATION

FC 町田ゼルビアが J2 優勝 & J1 昇格決定！！

弊社がオフィシャルクラブパートナーをしている日本プロサッカーチーム「FC 町田ゼルビア」が、10月28日（土）の J2 第 40 節清水エスパルス VS ロアッソ熊本戦の結果をもって、2023 シーズン「J2 リーグ優勝」が決定！翌 29 日（日）の VS ツエーゲン金沢戦終了後にトロフィーと記念盾が贈られました。また、10月22日（日）におこなわれた J2 第 39 節ロアッソ熊本戦に 3 - 0 で勝利し、来シーズンの J1 昇格も果たした「FC 町田ゼルビア」。来シーズンから J1 リーグ 1 年生として強敵揃いの戦いになりますが、弊社社員一同、全力で応援してまいります！

J2 優勝と J1 昇格を記念して、来る 11 月 18 日（土）10：00 から町田 GION スタジアムにてファンフェスタを開催。同日 15：00 からは町田駅前、原町田大通りにて FC 町田ゼルビア J1 昇格パレードを開催いたします。詳細は FC 町田ゼルビア公式 HP をご確認ください。



<https://www.zelvia.co.jp/>

ー 10 月 29 日（日）町田 GION スタジアムー



クラブチーム結成から 34 年。悲願の J2 優勝と J1 昇格で歓喜する黒田剛監督と選手たちに多くのサポーターが湧いた瞬間であった

ZEN 関東建設協会の 工事・分科会主催の  
社員技術者講習会を開催

10 月 24 日（火）、弊社 7 階ホールにて、ZEN 関東建設協会の 工事・分科会主催の社員技術者講習会をおこないました。



「ZEN・関東建設協会」は、ZEN グループ各社のうち、関東に拠点を置いている株式会社麦島建設東京支店、池田建設株式会社、株式会社辰の 3 社と、多くの社員が参加の各社の協力業者で結成された協会です。この厳しい時代を乗り切るために、会社の垣根を超えて「より良いもの」を「より早く」「お値打ちに」お客様に提供することを目的としています。

この日は弊社で防水工事を請け負っている株式会社トミヨシ商会の代表取締役 富岡大和氏を講師にお招きし、防水の種類や目的別の適応方法、シーリング施工時の管理方法などの講義をおこないました。



目的別の防水種や施工方法を解説

建物を永く、綺麗に保つためにメンテナンスとしてもとても重要な防水工事。一般社団法人全国防水工事業協会の定める資料を元に、今まで以上に深い防水・シーリング施工のあり方と大切さを学びました。

辰和会 ゴルフコンペ 2023 秋 開催  
ーアクアラインゴルフクラブー

10 月 14 日（土）、毎年恒例の辰和会 ゴルフコンペ 2023 秋が千葉県木更津市にある「アクアラインゴルフクラブ」で開催されました。



アクアラインゴルフ場にて

この日は綺麗な秋晴れに恵まれ、澄んだ空気のなか弊社社員、協力業者合わせて総勢 50 名が参加してのコンペとなりました。

IN コースと OUT コースそれぞれに分かれスタート。ナイススイングを魅せるたび歓声と拍手が上がり、コース終了後には懇親会と共に成績発表、上位入賞者には豪華景品が贈られました。今年優勝を納めたのはネットスコア 71.4 で土



見事優勝した奥村貴人氏

工会社の株式会社三幸重機 奥村貴人氏。惜しくも優勝を逃し、準優勝を納めたのはネットスコア 71.6 で、土工会社の久保木土建株式会社 代表取締役 久保木栄治氏という結果でした。

「スポーツの秋」として、毎年行っている本会。コロナの影響で中止を余儀なくされた年もありましたが、また翌年も開催されることを心より楽しみにしています。

「S1（仮称）千駄ヶ谷 1 丁目計画」新築工事 地鎮祭  
2023 年 10 月 6 日



鳩森八幡神社の近くに、外断熱仕様の上質なマンションが建築されます。

構造 / 規模：RC 造 / 地下 1 階・地上 3 階  
用途：共同住宅  
設計：設計組織 ADH  
施工担当：能田・川和（池上チーム）  
完成予定：2024 年 11 月

「ZYGZAG：北青山 3 丁目計画」内覧会がおこなわれました  
2023 年 10 月 27 日

10 月に竣工しました「ZYGZAG」の内覧会が開催され、会場には設計を担当した田邊曜建築設計事務所の田邊曜氏も参加し、建物の魅力や設計意図など、来場者へ丁寧に説明されました。



※写真はイメージです

近日 SHIN CLUB にてご紹介させていただきます。ご期待下さい。

所在：東京都渋谷区北青山 | 構造：RC 造 | 規模：地上 3 階 | 用途：テナントビル | 設計：田邊曜建築設計事務所 | 竣工：2023 年 10 月 | 施工担当：齋藤（敏）（池上チーム）

編集後記

・2023 年も残すところ 2 か月を切りました。年齢を重ねると時間の流れを早く感じてしまいます。師走に向かって、最後の追い込みです。体調管理をしっかりおこない、2024 年も健やかに迎えたいですね。

（株）辰通信 Vol.284 発行日 2023 年 11 月 10 日  
編集人：本間夏来/村上由衣/土屋祐一郎 発行人：若本健寿  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570  
FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧いただけます。バックナンバーも PDF で掲載しています。スマホはこちらから →

